

INFORMATION

オープンスクール開催

要予約

第1回 5月13日(土) 第2回 6月10日(土) 第3回 10月14日(土) 第4回 11月11日(土)

1日で東京成徳がまるわかり

授業見学

ミニ説明会

ランチ体験

生徒主催イベント

部活動体験・施設見学

学校説明会

2023年
5月28日(日)

2023年
6月24日(土)

2023年
10月22日(日)

2023年
11月19日(日)

2024年
1月21日(日)

校舎見学会 & 体験授業

2023年
5月21日(日)

2023年
6月18日(日)

2023年
9月10日(日)

要予約・HPから

詳細は本校ホームページをご覧ください。

※夕方説明会、平日説明会も開催しております。詳細はホームページをご確認ください。

本校の雰囲気を感じとれる 文化祭

9月23日(土)・24日(日)

10:00~15:00

詳細は本校ホームページをご覧ください。

入試説明会
[出願傾向説明]

11月19日(日)、12月17日(日)、
1月21日(日)

部活動体験

7月16日(日) 10:00~11:30

ACCESS MAP

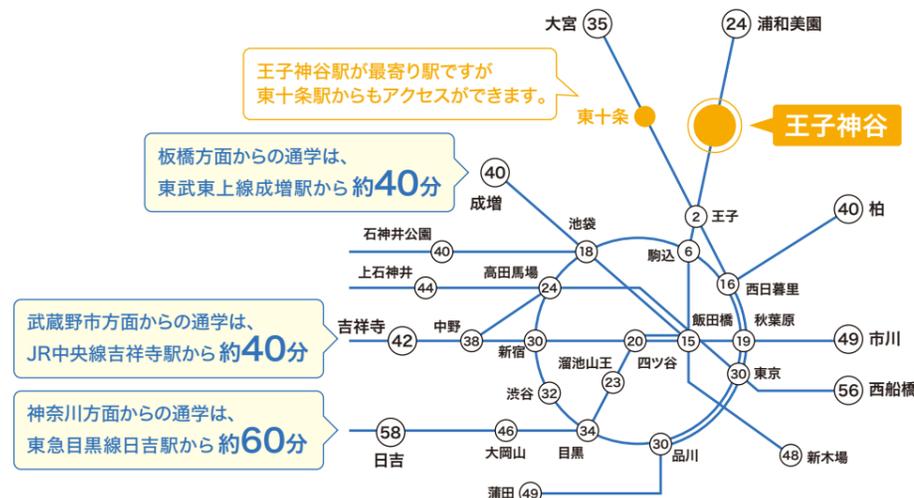
埼玉方面からの通学は、
JR京浜東北線・宇都宮線大宮駅から約40分
地下鉄南北線・埼玉高速鉄道浦和美園駅から約25分

○内の数字は、最寄り駅(王子神谷)からの所要時間です。

【最寄り駅からのアクセス】

- 地下鉄南北線「王子神谷駅」下車、2番出口より徒歩5分
- JR線「東十条駅」下車、徒歩15分
- 王子駅より都バス4番乗り場「千住車庫前」行きに乗り「王子5丁目」下車、信号を渡って徒歩5分

千葉方面からの通学は、
JR常磐線柏駅から約40分
JR総武線市川駅から約50分
地下鉄東西線西船橋駅から約55分



東京成徳大学中学・高等学校 [中高一貫部]

TOKYO SEITOKU UNIVERSITY JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL [6-year Course]

〒114-8526 東京都北区豊島8-26-9
TEL:03-3911-7109 FAX:03-3911-3747
E-mail:info@js.tokyoseitoku.jp

TOKYO SEITOKU

東京成徳大学中学校 検索 詳細はホームページをご覧ください。 www.tokyoseitoku.jp/js



東京成徳大学中学・高等学校 [中高一貫部]

TOKYO SEITOKU UNIVERSITY JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL [6-year Course]

夢が広がる、
カタチになる。



未来を見据え、
世界を知る、
自分を拓く

経験や挑戦を次の学年に いかして成長できる。 それが中高一貫校の強み。

東京成徳の6年間は、たくさんの新しい経験、チャレンジの連続。

1年間のカリキュラムを経て得た学びを、次の学年にも

しっかりいかして成長していけることが、

中高一貫校ならではの強みです。

こうした環境の中で、生徒たちは自分のやりたいこと、
好きなことを見つけ、それを具体的な夢や目標につなげて、
広い世界に大きく羽ばたいていきます。

未来を見据え、 世界を知る、 自分を拓く



教育

起業

医療



海外

東京成徳の制服

冬服は、ネイビーとグレーを基調としたブレザータイプ。男子はストライプのタイ、女子はタータンチェック柄のスカートがポイント。さわやかな印象と着心地の良さは、生徒たちにも好評です。夏服は、ミドルグレーのスラックス、ライトグレーのグレンチェック柄スカートに衣替え。



資格



研究

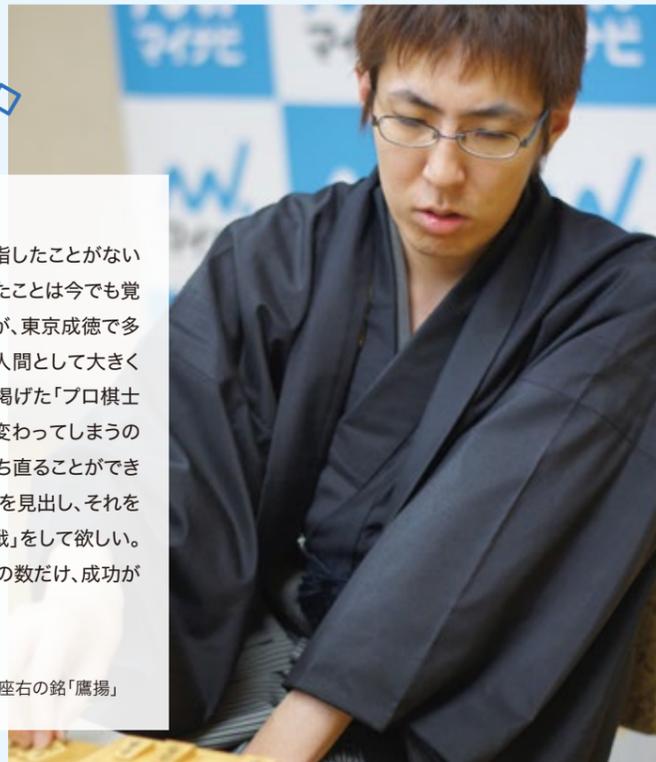
多彩な夢や目標を実現して 輝いている卒業生たち

6年間の学びで得た多くの知識や経験をいかして活躍する、東京成徳の卒業生たちの進路は実に多彩です。彼らが実現した夢や目標はどれも、豊かな学びにあふれた学校生活で見つけることができたもの。そんな卒業生たちの輝かしい“今”をご紹介します。

社会人 OB

中学・高校時代を振り返ると、とても楽しい学校生活でした。将棋を指したことがない友達にコマの名称や動かし方を教え、徐々にみんなが強くなっていったことは今でも覚えています。将棋のことだけを考えると視野が狭くなりがちですが、東京成徳で多くの先生方や友達と出会い、幅広い視野と知識を手に入れ、一人の人間として大きく成長できました。そして私は高校卒業と同時に、小学5年生のときに掲げた「プロ棋士になる」という目標を達成できました。その後、将棋は一手で局面が変わってしまうので、「勝ち」が「負け」になることに悩み、苦しんだ時期もありました。立ち直ることができたのは、「挑戦」してきたから。見たことも聞いたこともない新しい手を見出し、それを実戦で指してきたからなのです。ぜひ、東京成徳の学校生活では「挑戦」をして欲しい。挑戦の数だけ、失敗があります。失敗の数だけ、経験があります。経験の数だけ、成功があります。きっとその先に、見たことのない世界が見えるはずですよ。

将棋棋士
広瀬 章人 八段(2005年卒業) 第51期(2010年)王位獲得 第31期(2018年)竜王獲得 座右の銘「鷹揚」



リーダーシップをいかし
大学生で起業して社長に。
株式会社ONE NOVA 代表取締役社長
高山 泰歌(2017年卒業)

妊娠・出産から終末期医療まで、
女性の一生に関わる産婦人科医。

産婦人科医
澤田 杏子(2011年卒業)

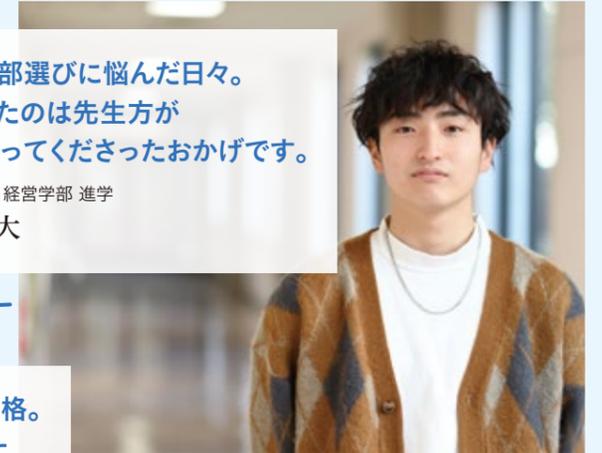


2023年 卒業



学校の受験サポートだけで合格。
根気よく面倒を見てくださった
先生方に感謝しています！
東京外国語大学 国際日本学部 進学
渡部 りさ

大学と学部選びに悩んだ日々。
決められたのは先生方が
相談に乗ってくださったおかげです。
東京理科大学 経営学部 進学
高橋 岳大



勉強の仕方から参考書の選び方まで
困ったときにくださった先生の
アドバイスが役立ちました。
早稲田大学 文化構想学部 進学
武村 智佳

自分の弱みを克服できた冬期講習。
楽しみながら学べたからこそ
志望校に合格できました！
お茶の水女子大学 理学部 進学
染谷 美吹



志望校の選定から赤本の
進め方まで、進路指導の先生が
親身に相談にのってくださいました。
千葉大学 理学部 進学
小澤 周生

苦手分野を集中的に学び、
受験対策をしながら文化祭を
成功させたことも最高の思い出に！
千葉大学 薬学部 進学
松原 陽月



進学・進路・実績の詳細は
こちらをご覧ください

TOKYO SEITOKU School Talk

—東京成徳で学ぶということ—

本校がめざしているのは、社会の変化に対応し、主体的に躍動できる「グローバル人材」を育てること。「教える側」と「学ぶ側」、それぞれの視点から「東京成徳の学び」について語り合います。

東京成徳大学中学・高等学校
元生徒会長

大橋 紡



東京成徳大学中学・高等学校
校長

木内 秀樹



先生と生徒の距離の近さ

木内 東京成徳の学校生活はどうでしたか？

大橋 率直に言って「楽しい6年間」でした。入学前、まだ小学生だった自分が思い描いていたよりもずっとたくさんの経験ができて、授業も面白くて刺激的。一年一年が変化に富んでいて、ものすごく成長したなと思います。

木内 それは嬉しい言葉です。大橋さんはどうして東京成徳を受験しようと思ったんですか？

大橋 母が卒業生だったんです。それで、部活動体験に行ってみたら、すごく楽しくて。しかも、母が恩師の先生方と話す様子が、久しぶりに会う友達みたいでびっくりしました。それまでは中学って怖いところだと思っていたんですが、イメージがガラッと変わったんです。

木内 うちの学校は先生と生徒の距離が近いんですよね。他の卒業生からも「大学に進学して初めて、それが特別なことだと気づいた」という声をよく耳にします。

大橋 校長先生もよく「和気藹々とした雰囲気」とおっしゃっていますが、生徒同士も男女の垣根なく、派閥もなく、とても仲がいいんですよね。学年全体がひとつのチームという感じ。自分が自然体でいられる学校だからこそ、のびのびと学んで、得意なことや夢中になれることを見つけられたんだと思います。

木内 ただ仲がいいだけでなく、意見が対立したときに多様な価値観を理解することの大切さも、生徒たちはよく理解していると感じています。また、くだけた雰囲気のなかでも「品格のある行動を大切に」ということは常々、集会などで伝えていきます。

ICTを使いこなす能力は強み

木内 大橋さんが入学した年から、本校のiPadを使ったICT教育がスタートしました。今ではタブレットPCを使う学校もずいぶん増えましたが、他校との違いはどんなところだと実感していますか？

大橋 うちの生徒は、ICTを使いこなす能力が高いと思います。タブレットPCは単に学校からの連絡をもらったり、検索したりするための機械じゃない。学びに活用して、学んだことを表現していく道具として使っています。

木内 コロナ禍でも役立ちましたね。どこの学校でも授業ができずに困っていましたが、うちは先生も生徒もオンライン授業が非常にスムーズでした。

大橋 そうなんです。授業を受けたり、課題を提出した

り、オンラインのコミュニケーションは僕たちにとっては普段からやっていたこと。当たり前すぎて、他の学校で困っているなんて思いもしませんでした。

留学の先に広がる大きな世界

木内 東京成徳の生徒は、グローバル社会に対応していけるように、3年生の終わりにニュージーランド留学を経験します。留学によって、英語力を伸ばすだけでなく、「自ら考え、判断し、行動する」という力を身につけてほしいと私たちは考えています。大橋さんは実際に留学を経験して、どんな変化がありましたか？

大橋 もちろん語学力は伸びましたが、それ以上に視野が広がりました。現地の学校で学んで、これまでの考え方や心構えがガラッと変わり、もっと新しいことにチャレンジしてみたくなりましたし、勉強に対する姿勢もさらに積極的になったと思います。

木内 親元を長く離れて、ひとりで過ごさなければならぬ時間も多かったでしょう。

大橋 そうですね。でも、ひとりだからこそ、日々を振り返る時間を持てたのはよかったです。「次はこんなことを頑張ってみよう」と、目標を立てたりして。帰国してからも、自己内省ができるようになりました。

木内 文化も人種も多様な環境で、協働することを学び、大きく成長したんじゃないかと思います。

大橋 そうですね。留学制度やICT教育は東京成徳の強みなんです。それ自体が目的ではないと思っています。留学は通過点であり、ICTは自分がやりたいことに挑戦し、夢を実現するための道具にすぎません。だから、受験生のみなさんには、必ずしも留学やICTに興味なくても良いということを伝えたいです。むしろ、どんなことでもチャレンジできる環境なので、可能性は無限に広がっています。高校課程には仲間と共に学べるゼミもあり、みんなで試行錯誤して高め合っています。

木内 仲間と良い刺激を与え合えるのは、代々受け継がれている本校の校風ですね。東京成徳の建学の精神は「徳を成す」という志を持った若者を育むこと。「徳は孤ならず」で、「お互いを思いやり、高めていく」という小さな積み重ねが、今の校風につながっているのだと思います。

大橋 自身の経験からも、ぜひ受験の前に、文化祭などの機会に学校見学にきてほしいですね。きっと、「東京成徳らしさ」を感じてもらえるはずです。

(2023年2月末日、中高一貫部校舎にて実施)

未来を見据える

6年間かけてじっくり創造性を育み、しっかりとこれからの将来につなげていく。

東京成徳はそんな「未来を見据えた学び」に力を入れてきました。

今後ますます重要になっていく「ICT教育」は、基礎的なスキルだけでなく、

「ICTを活用する力」を伸ばします。また、2020年度から全国の小学校で

必修化された「プログラミング教育」も取り入れ、現代生活に欠かせない

最先端の科学技術を学ぶ「理科教育」にも重きを置いています。



P9-10



世界を知る

東京成徳のすべての学びの向こうには、まだ見ぬ大きな世界が広がっています。

学びの領域が拡大していくにつれ、学校という小さな枠から飛び出し、

日本から世界へと興味のフィールドをどんどん拡張させていくことでしょ。

そこで、中学課程では英語の基礎を固めて、全員が短期語学留学を経験し、

高校課程ではその経験をもとにどんな世界でも活躍できる力を養います。

こうして「グローバルマインド」と共に、「チャレンジ精神」も育てていきます。



P11-12



自分を拓く

生徒たちが潜在的に持っている、教科の枠にとらわれない豊かな才能は、

自ら積極的に開拓していかなければ、花開くことはありません。

その道筋をつくるのが、主体性を育む授業。多岐にわたる専門分野を

ゼミ形式で深く探究する「Diversity Seminar」や、自らテーマを設定して

課題解決をめざす「実地踏査型研修旅行」、本校独自のプログラム「自分を深める学習」は、

自己の深部にある可能性を見つけ、未来の自分を思い描ききっかけとなります。



P13-14



未来を見据える 創造性を育む教育



東京成徳の教育の詳細情報は
こちらをご覧ください

プログラミング教育

2020年度から、全国の小学校で「プログラミング教育」が必修化されました。本校では学校法人片柳学園と提携し、中学課程から段階的に学んでいきます。高校では希望者が自分でオリジナルのアプリをつくる講座も設けており、学んだ知識をさらに深めていけるのが本校のプログラミング教育の特徴です。

授業実践例

ロボットを動かすシステムを学ぶ

プログラミングロボット教材を利用した授業を実施しています。プログラミングでモーターやセンサーを動かし、ライトレースやペットボトルを倒すといった動作システムを体験的に学習していき、技術力・創造力・問題解決能力を養います。ロボットが実際に動く臨場感、自分たちの手で動かした達成感は格別！ プログラミングに対する理解もいっそう深まります。



ICT活用理念

Apple Distinguished School[®]に認定されている本校では、生徒たちは入学時にひとり1台のiPadを手にします。すでにスマートフォンなどのデジタルツールを使い慣れている生徒も、初めて触れる生徒も、基礎から使い方を習得。身につけたスキルをいかし、研究テーマのプレゼン、校外学習や行事の記録などを行い、「ICTを活用する力」を伸ばします。

※Apple Distinguished School: Appleが国際的に教育効果の高さを認定している学校で、世界36か国で689校、日本国内では11校、東京都内の私立中高では、本校を含めた3校のみが認定されています。



授業実践例

英語で短編映画をつくらう

中学課程の中盤に入ると、英語の授業では「過去形」や「現在進行形」、そして「未来形」といった「時制」について学び、理解できるようになります。そこで、「もしも自分がタイムトラベルをしたら…」という英語の短編映画をiPadで創作。学習した内容について、さらに理解を深めます。



和田 一将
(ICT活用推進部 部長)



授業実践例

iPadで数学を表現する

数学では、概念や解法について、iPadを活用してアウトプットする授業を実施しています。写真や動画、イラストを駆使し、一人ひとりの理解力や個性に応じて表現する力が身につきます。授業の進め方も従来の講義型ではなく、動画の視聴やテスト、学び合い、振り返りで構成。戦略的学習力と主体性を養い育てます。



降矢 貴充
(数学担当教諭)



授業実践例

社会で生きる判断力を養う

「社会科は暗記科目だ」と思われがちですが、真髄は社会の一員としての判断力を身につけることにあります。そこで、実社会を想定した「模擬〇〇」、金融体験、新聞活用に重きを置きながら、ICTを活用した授業を実施。実際のシステムに近い状況の再現をしながら、生徒同士で意見を共有していきます。



福島 祥雅
(ICT担当教諭)



理科教育



現代社会はテクノロジーの進化により、便利で快適な生活環境である一方、気候変動による環境問題などは深刻です。このように、私たちの生活と密接に関係しているのが「理科(サイエンス)」です。本校では観察や実験を積極的に取り入れ、根底にある原理・法則を探究していくような理科教育を実施しています。

授業実践例

サタデープログラム(理科実習)

「授業では実施不可能な実験にトライする」がコンセプト。「虹をつくらう(濃度勾配を利用して色彩を楽しむ実験)」や「花火をつくらう(火薬を調合し特性を知る実験)」などの1回完結型の実習と、「身近な細菌を知る(手の細菌や発酵に関わる細菌の培養実験)」などの複数回連続型の実習を行います。



高橋 喜徳
(理科担当教諭)



授業実践例

各分野の専門家による出張授業

本校では毎年、様々な分野で活躍している企業の研究者や技術者、大学教授といった専門家を招き、最新のサイエンスを実際に体験する授業を実施しています。また、本校での様々な取り組みを紹介すべく、生徒たちが外部で出前講座にも挑戦します。



汲田 憲彦
(理科担当教諭)



世界を知る

チャレンジ精神を育む教育

東京成徳の「グローバル教育」は中高一貫校ならではのカリキュラム。

一年一年、着実に生徒たちの可能性を伸ばし、世界で活躍できるマインドを養います。

全員が語学留学で学んだ言語を実際に使うという経験は、生徒たちの視野を広げ、「チャレンジ精神」まで育みます。



質の高い授業で英語の基礎を固める

英語で「聞く」「話す」「読む」「書く」が自在にできるよう、目標を定めて達成していきます。中学課程の早い段階で英語プレゼンテーションに取り組み、「英語を使う」こともしっかり学習。また、1年次(中1)からネイティブ講師によるイングリッシュキャンプで英語漬けの授業も実施します。

めざす方向性に合わせてグローバル教育を選択

高校進学に向け、自分のめざす方向性が見えてくる時期。2年次(中2)の短期語学留学の経験をもとに、3年次(中3)では生徒が主体的に「留学タイプ」「国内タイプ」のいずれかを選択します。多様な生き方をしていく生徒たちのニーズに合わせて、グローバルマインドを育みます。



セブ島語学留学

グローバル社会で生き抜いていくためのアイテムとしての「英語力」を鍛える必要性に気づく2週間。自分の世界が広がり、多くの刺激を得ることで、英語学習に新たな目標を見出します。



国内グローバルカリキュラム

中3の3学期における大切な3ヶ月間という期間を、中学の総括として有効活用。クラスも再編成し、「高校課程に向けた基礎学力の定着」など、目的別のプログラムを実施していきます。

- ポイント① 少人数による再編成クラス
- ポイント② 実践的英語コミュニケーション能力の養成
- ポイント③ 短期ゼミナール開講

国内タイプ



ダイバーシティゼミ・実地踏査型研修旅行

ゼミは複数の選択肢の中から、自らテーマを選んで決定します。実地踏査は、自分の問題意識を掘り下げてテーマを創り出し、探究活動を行います。



グローバルな視野で進路を考えるサークル活動

「東京成徳グローバルプロジェクト」始動!

近年、海外の大学へ進学を希望する生徒が増えています。そこで発足したのが「東京成徳グローバルプロジェクト」。同じ目標を持つ生徒同士が交流し、情報を共有できる組織です。英語圏のみならず、アジア圏など各国の大学受験をサポートします。

進路を考える「ケーススタディ」

視野を広げるための「国際コンテストプログラム」

国際外交を体感する「駐日外国大使館訪問」

海外大学生「オンライン・インタビュー」

キャリアを考える「外資系企業インターンシップ」

NZ学期留学

ニュージーランドの家庭にホームステイしながら、現地の中学校の3年生に編入して学びます。授業を含めて現地ではすべて英語の学校生活を送ります。

- 効果① 自立が促され、積極的な姿勢に変化する
- 効果② 実践的英語力が向上する
- 効果③ 多様性を尊重する心を養う



各教科の「主体的学び」の授業が佳境

これまで培ってきた「広い視野」と「思考力」「判断力」「表現力」「協働能力」が、生徒それぞれの中で高いレベルで統合。各授業が白熱します。

「自らの夢」に向かって進路を切り開く

6年間を通して自ら意思決定し、困難を乗り越えてきた経験と「グローバルな視野」で自らの進む道に果敢にチャレンジしていきます。

国内大学

- 一般入試
- 総合型選抜
- 学校推薦型入試

海外大学

海外大学指定校推薦枠 50名分

■主な海外大学指定校

国	大学	世界ランキング (QS)
アメリカ	Arizona State University	216
アメリカ	University of Illinois at Chicago	285
イギリス	University of Sussex	226
オーストラリア	The University of Sydney	38
ニュージーランド	University of Auckland	85



留学プランについてはこちらをご覧ください

自分を拓く 主体性を育む教育

生徒たちが自らの可能性を見出し、伸ばしていく。そのために取り入れているのが「探究型学習」です。それは「自ら疑問に感じたことを解決するために、様々な手法を使って調べ、答えを導いていく」という学習方法。「主体的に学ぶ姿勢」が高いレベルで養われます。



Diversity Seminar

高校課程では、多岐にわたる専門分野から自分のテーマを選び、個人やグループで深く探究していく「Diversity Seminar (ダイバーシティゼミナール・通称ゼミ)」に参加します。主体性・創造性・多様性を伸ばし、中学課程で培った力を最大限にいかすことをめざします。



授業実践例

医療従事者への道

「出生前診断」など、医療人として考えておくべき問題をグループでディスカッション。校内でのテーピング実習や豚の解剖実習、実際の医療現場で職業体験なども実施します。



中村 千鶴
(総合探究担当教諭)

授業実践例

芸術の可能性を探ってみよう

好きなことをとことん追求して世の中にあるものをつくるゼミ。「リバーシブルのリースをつくる」という課題では、ハロウィンとクリスマスの両方で使用できるリースを制作します。



塚田 洋丈
(総合探究担当教諭)



その他のDiversity Seminar

- 人と自然の関わり
- 沖縄から学ぶ基礎教養
- 美味しい珈琲を淹れよう
- アプリを開発
- ビジネスで社会貢献
- ものづくりとSTEAM

探究型学習

実地踏査型研修旅行

現代社会では、数値では測れない「非認知能力」や「考える力」が重要視されるようになってきました。そこで、従来の修学旅行のカタチを変更しました。このプログラムでは、各生徒が自らの研究テーマを持ち、複数の都市に分かれて実地踏査を行い、設定した課題・仮説を調査し、自分なりの結果を考察します。

実地踏査型研修旅行の具体的な流れ

- STEP.01** テーマを考えよう！
 - 4月～6月 探究したい分野を検討する、行き先を検討する
 - 7月～9月 仮の行程を考える、行き先の決定
 - 夏休み 事前調査レポートの策定
- STEP.02** 実地踏査に向けた準備をしよう！
 - 9月～12月 オリジナルの課題・仮説を設定する、事前調査の実施
 - 冬休み 事前調査レポートの策定
 - 1月～2月 事前調査の実施、行程の決定
- STEP.03** 実地踏査の本番
 - 2月 実地踏査本番
- STEP.04** 事後レポートを作成しよう！
 - 3月 事後レポートの作成
 - 3月下旬 プレゼンテーションによる研究発表



授業実践例

日本人と塩分摂取量

ある生徒は、北に行くほど塩分摂取量が増加する傾向があるにもかかわらず、北海道では塩分摂取量が少ない点に着目。「食材の塩分含有量の影響がある」という仮説を調査しました。



木内 雄太
(研修旅行プログラム担当教諭)

自分を深める学習

本校オリジナルのプログラムです。この授業で考えるのは、「自分とは何か」「なぜ学ぶのか」「どう生きるのか」というテーマ。変化の速い現代社会で、簡単に答えが出ないことに向き合い、仲間と意見を交わしながら、自分で納得できる解を導いて成長していきます。

1年次	2年次	3年次	4年次
人と人とのつながりを考える、心の内側を見つめる時間を持つ	命のつながりを考える、自然の中で多様性を体感する	社会とのつながりを考え、日本以外の国を体験してみる	つながりの中でどう生きるか、自分が将来どう生きたいかを探る



授業実践例

人と人とのつながり

中学1年生のテーマは「人と人とのつながり」です。「心技体」「守破離」「真善美」などの言葉についてその意味と向き合い、生徒たちは新たな価値観を創造していきます。



長原 潤一
(自分を深める学習担当教諭)

東京成徳の教育の詳細情報は
こちらをご覧ください



6年間のカリキュラムと きめ細やかな学習フォロー

中高一貫校の強みをいかし、高校卒業に必要な単位の履修は4年次(高1)まででほぼ終え、5年次(高2)以降は選択した進路に合わせた勉強ができるカリキュラムです。
教員は「力を引き出して伸ばす指導」を、生徒は「自分で主体的に考えて学ぶ姿勢」を大切に、この「教え型×学び型」の相乗効果が将来の可能性を広げます。



▼ 中学1・2年(令和4年度～)標準34コマ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	
共通	国語		分 野	地理	分 野	歴史			数学		理科1	理科2	(保 健)	体育		英語	音楽	美術	技術	家庭	自 深	H R												

▼ 中学3年(令和6年度～)標準34コマ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	
共通	国語		分 野	公民	分 野	歴史			数学		理科1	理科2	体育	保健		英語	音楽	美術	技術	家庭	自 深	H R												

▼ 高校1年(令和4年度～)標準34コマ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34		
共通	国語	現代 の	文化	言語	総合	地理	総合	歴史	数学	数学	人間	科学	基礎	生物	保健	体育	英語	表現	論理	基礎	家庭	探究	総合	H R											

▼ 高校2年(令和5年度～)標準34コマ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
文系	論理国語		公共	保健	体育	芸術			英語		論理	表現	情報	総合	H R	古典	世界	日本	数学	数学	理科		古典	世界	日本	数学	数学	理科		古典	世界	日本	数学	数学	理科
理系																物理	生物	数学	数学	地理	化学	古典	物理	生物	数学	数学	地理	化学	古典	物理	生物	数学	数学	理科	

▼ 高校3年(令和6年度～)標準26コマ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	
文系	論理国語		体育			英語			論理		H R	古典	世界	日本	文学	英語	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文
理系												総合	生物	化学	数学																					

QRコード
新カリキュラムについては
こちらをご覧ください



① BUP (ボトムアッププログラム)

中学に入学して学習環境が大きく変化し、授業につまずきを感じてしまうことがあります。そこで実施しているのがBUP(ボトムアッププログラム)。中1・中2の英語と数学の成績で判断し、本人のモチベーションを保ちながらフォローアップ。BUPは『面倒見の良い学校』として定評がある、本校らしいプログラムです。

② 習熟度別授業

英語と数学では、各自の達成度に合わせたクラス編成を行います。クラスを分割することで少人数制となり、担当教員とのやり取りが増えることで、「授業での学習効果」が高まります。また、学び合う授業の形態も様々なバリエーションが増え、生徒たちは多角的に学習を行っていくことができます。



③ 各種講習会

夏休みや冬休みなどの長期休みを活用し、弱点の見直しや学期の内容をさらに深くまで学習する講習会を実施しています。大学受験が迫る高校3年生は直前講習会が生まれ、国立受験の後期日程までサポートを続けます。また、生徒たちは自分に必要な科目を履修し、効率的な学習スタイルで実力アップに努めていきます。

④ 個別補習

「生徒と先生の距離が近い学校」と親しまれている本校では、個別の補習もフレキシブルに実施しています。職員室前の丸テーブルを生徒たちが気軽に質問をできる場として活用。定期試験前の放課後になると満席になるほど多くの個別補習が行われ、朝の登校時間を少し早めて質問に来る生徒も珍しくありません。

⑤ 定期面談

1学期と2学期の中間試験後に実施される定期面談は、学習の状況について担任とじっくり話ができる機会です。さらに、行事や部活動での相談など学校生活に関する問題を担任と共有していきます。高校では一人ひとりの資料に基づき、文理選択や進路相談などの面談を実施し、自分の進路を切り拓く生徒に寄り添います。

⑥ W担任制と進路週間 (進路サポート制度)

生徒の求める分野に精通する教員が担任とペアとなり、生徒の進路実現をサポートする「W担任制」。定期面談時期に並行して行われる「進路週間」は、自分の興味のある分野の内容を知る貴重な機会となっています。W担任のサポートと進路週間のプログラムが自分の将来を見つける契機となり、将来の夢が広がりカタチとなっていきます。

様々な入試タイプに応じた 充実の進学サポート

進学は自分の未来に向かう大切なステップです。一般入試だけでなく、総合型選抜や指定校推薦の可能性も視野に入れ、様々な入試タイプに対応。それぞれの生徒が希望する進学先に応じて、サポート体制を充実させています。教員は時間をかけて生徒の気持ちを理解し、それぞれの「道」を一緒に見つけていきます。



1 豊富な指定校推薦枠

本校の卒業生数は高等部と併せて500名以上。これに対して、大学からの指定校推薦入学枠は約**1,320名分**※ほど有しているため、志望大学への推薦制度を多くの生徒が利用しています。学内での成績が選考基準となるため、積み重ねてきた努力が評価されます。

■ 指定校推薦入学枠の内訳

慶應義塾・東京理科・学習院・青山学院・立教・中央・法政・立命館	約 25名分
日本・東洋・駒澤・専修・成城・神奈川・明治学院	約 42名分
大東文化・東海・亜細亜・帝京・国士館・拓殖・東京経済	約 45名分
芝浦工・東京都市・工学院・東京電機・東京農業	約 62名分
東京女子・日本女子・大妻・聖心・共立女子・昭和女子	約 33名分
歯学部・看護学部・薬学部	約 70名分
海外大学 [Arizona State University(米国)など]	約 50名分



2 グローバル進学型への対応 (国内・海外大学)

(株)留学情報館契約プロバイダ経由で、海外大学の学校推薦型選抜(指定校推薦)枠を約**50校**有しています。一定の英語力、評定平均などがあれば、スムーズに進学することが可能です。また、海外志向であっても、国内の国際教育が充実している大学を選択をする生徒も増えています。

■ 海外指定校の内訳

北米英	26校 (アメリカ:13校、カナダ:4校、イギリス:9校)
オセアニア	21校 (オーストラリア:13校、ニュージーランド:8校)
アジア	3校 (マレーシア:2校、シンガポール1校)

2023年度は2名の生徒が海外大学に進学!



英語力を磨いてめざしたのはオーストラリアの大学。親身な指導が励みになりました
University of South Australia 進学
井戸根 美花



3 総合型選抜と学校推薦型入試

近年、大学入試も大きく変化を遂げています。従来型の試験だけではなく、新しい学力観を各大学が示しており、人物を総合的に評価する入試が実施されるようになってきました。本校では「主体的な学び」を軸に、多様化する大学入試でしっかり結果を出しています。

■ 2023年度 主な合格実績

国立	東京外国語
私立	慶應義塾・東京理科・立教・学習院・青山学院・明治・関西・成城・日本・東洋・専修・芝浦工業・武蔵野美術・東京女子
他	



小論文や面接練習を徹底的に対策してくださった先生方。AO入試で希望の大学へ!
慶應義塾大学 総合政策学部 進学
古川 万里子



4 一般選抜入試の指導

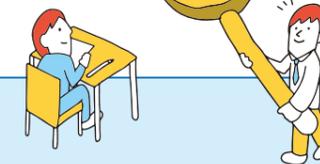
6年間の効果的な学習カリキュラムのもと、継続的な取り組みを重ねることが、志望大学の合格につながります。そのために、講習会や個別補習などを頻繁に設け、それぞれの生徒に合った学習を最後まで支援します。

■ 2023年度 主な合格実績

国立	千葉・お茶の水女子・宮崎・北見工業
私立	早稲田・慶應義塾・上智・東京理科・立教・学習院・青山学院・明治・法政・中央・駒澤・専修・東洋・日本・国学院・昭和薬科・星薬科・東京薬科・明治薬科・北里
他	



2023年度の最新情報を含む、これまでの実績を随時更新しています



※ 本校の2022年度高3生に対する入学枠(4年制大学のみ)

SCHOOL EVENT

東京成徳の年間行事

東京成徳の学校生活を盛り上げる学校行事。

みんなで知恵を出し合い、助け合って成功させていくイベントの数々は、一生の思い出を育むかけがえのない経験!

そんな行事の数々を生徒たちの声で紹介していきます。

入学式

入学式当日は、入場から退場まで緊張のせいでカチコチ! 新しい環境や友達に不安もたくさんありましたが、すぐに慣れました。



2~3日の泊りがけて、戸隠の自然に触れながら、仲間たちと共にハイキングなど、いろいろなことにチャレンジできました。

戸隠
校外学習



球技大会
スポーツ大会



スポーツ大会は中学生だけで開催するイベント。バスケットボール、大縄跳びや鬼ごっこ、リレーなどで競い合います。どの種目も白熱した試合に!

球技大会は、高校生だけで開催するイベント。全員が一生懸命に取り組み、学年を超えた激闘も見どころ。運動が苦手な人も応援に力が入ります。

5年生の行事です。昨年度は大阪を中心とした関西地区、福岡を中心とした九州地区を訪れ、様々なテーマを探究しました。

実地踏査型
研修旅行



4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

体育祭



6学年合同で行う学内最大級のイベントです。学年を超えて交流できるのも、魅力のひとつ。忘れられない思い出になること間違いなし!



企画から運営まで、すべて生徒が行います。アトラクション、演劇、屋台、展示など多彩な催しがあり、後夜祭まで大盛り上がり!

文化祭



中学時代の大きなイベントのひとつ。たくさんのお客さんに練習した歌を聞いてもらう合唱祭は、とても緊張する行事です。でも、みんなが満足するステージになれば大成功!

合唱祭



校外学習

自分の探究テーマをとことん調べられるフィールドワーク。鎌倉を訪れ、昔から大切にされてきた伝統を感じることができました。



卒業式

卒業証書を受け取り、6年間の学校生活を終えます。それぞれの夢や希望を胸に抱き、生徒たちは新たな一歩を踏み出します。



クラブ活動

本校が勉強と同等に力を入れているのが、多彩なクラブ活動。
努力や工夫を学び、忍耐力や自律心を養う場です。



クラブ活動の詳細は
こちらをご覧ください



活動クラブ

運動部	文化部
<ul style="list-style-type: none"> 男子バスケットボール 女子バスケットボール 男子サッカー 女子サッカー 中学軟式野球 男女水泳 男女陸上競技 女子ラクロス 女子ダンス 	<ul style="list-style-type: none"> 男子テニス 女子テニス 男女剣道 女子バドミントン 男女柔道 フラッグフットボール 女子ソフトボール 卓球
	<ul style="list-style-type: none"> 美術 天文 合唱 ボランティア 吹奏楽 軽音楽 鉄道研究 将棋 理科実験
	<ul style="list-style-type: none"> 放送 茶道 料理 e-sports

主要な体育・運動施設

一貫部グラウンド	2,400m ²
高等部グラウンド	5,361m ²
新田グラウンド	4,426m ²
一貫部体育館	1,182m ²
一貫部武道場	568m ²
高等部総合体育館	6,330m ²
高等部第5体育館	986m ²
屋内プール	25m×8コース
テニスコート	砂入り人工芝4面
弓道場	28m×6射座

施設紹介

毎日の学校生活をいきいきと心地よく過ごせる、ゆとりのあるキャンパス。
学びに必要な施設が充実しています。



施設の詳細は
こちらをご覧ください



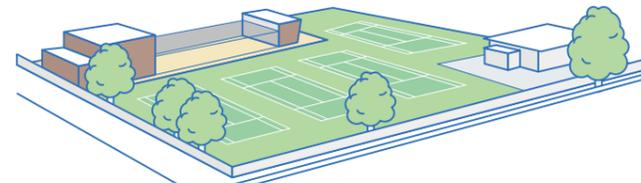
新田グラウンド

雨にも強い砂入り人工芝のテニスコート4面と、都内でも有数の総ヒノキ素木張りの弓道場があります。



高等部

歩いて5分程の距離にある高等部の施設は中高一貫部生徒も使用しています。



グラウンド

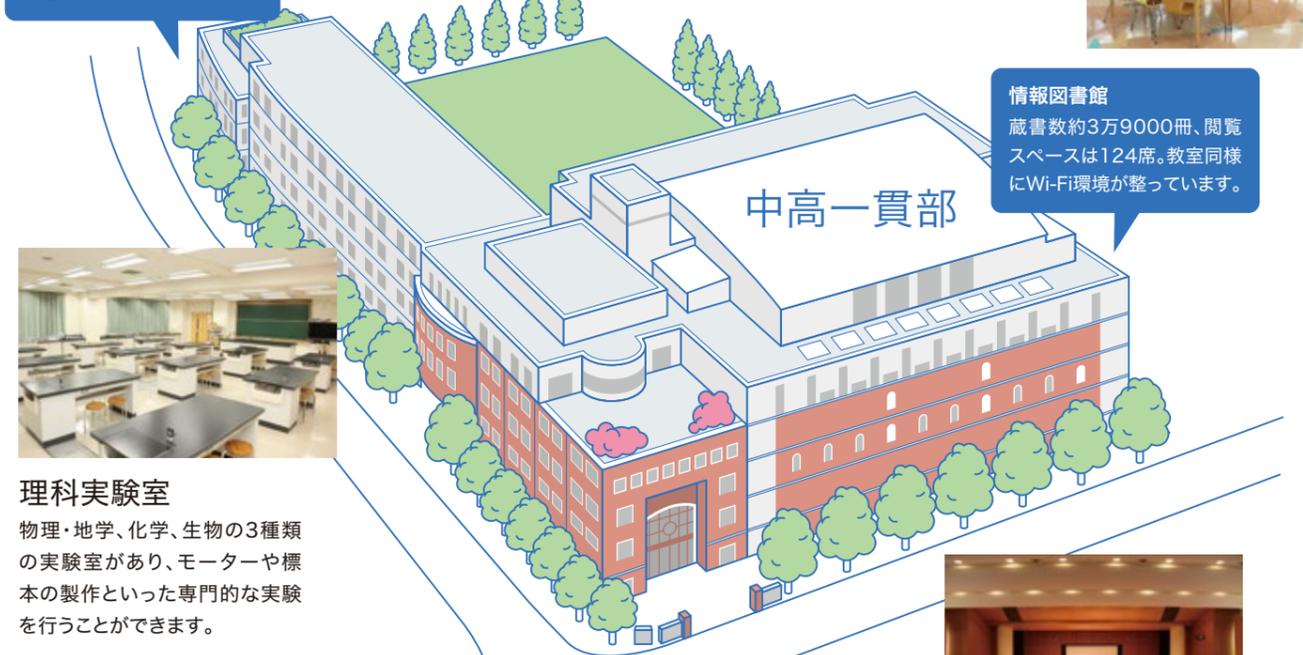
校舎に囲まれたグラウンドは、雨天にも強い全面ゴムチップ入りの人工芝。ナイトゲーム用の夜間照明も設置されています。

食堂

明るく開放的な食堂。放課後には、育ち盛りのお腹にうれしい気の利いた軽食の用意も。



和室
広さ30畳ほどの和室。茶室として使えるように炉が切られ、茶道部も活動しています。



情報図書館
蔵書数約3万9000冊、閲覧スペースは124席。教室同様にWi-Fi環境が整っています。

中高一貫部

理科実験室

物理・地学、化学、生物の3種類の実験室があり、モーターや標本の製作といった専門的な実験を行うことができます。

「コンピュータールーム」を「ラーニングcommons」にリニューアル!

「コンピュータールーム」を改装し、学び合いの場として新たに誕生した「ラーニングcommons」。パソコンはすべて「Macbook pro」、机や椅子は移動式。グループワークやプレゼンテーションに、生徒たちが自由に活用できます。



ヴェリタスホール
本格的な音響・映像設備を備えた338席のホール。生徒たちの発表の場としても活用。